

事業番号	15 01 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	ICT環境整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課	

1 現状と課題

生徒1人1台タブレット端末や電子黒板の整備等が進み、ICTを活用した教育環境が整う中、教職員のICT活用の底上げが進んでいるものの、教職員個人の技量に頼る部分があるため、持続可能な教育活動（教育内容）に繋がらないことがある。

2 事業目的

生徒1人1台タブレット端末を有効活用し、教育のICT化を加速させるため、教職員のICT活用力を向上させるとともに、個別最適な学び、協働的な学びを取り入れた探究的な学習スタイルによる授業を展開し、生徒の「問題発見・解決能力」「情報活用能力」を育成する。

3 事業目的を達成するための取組

①教職員のICT活用促進や環境整備

- 教員の効果的なICT活用の基盤を整備するため、県立高校における電子黒板等のICT機器を更新整備
- 1人1台端末による教育活動の円滑な運用を支えるため、GIGAスクール運営支援センターを設置し、障害発生時に素早く対応
- 小中学校の1人1台端末の計画的な更新を進めるための市町村向け補助を実施
- 【新】県立高校の授業等を配信するため、受信校に機材を整備
- 【新】教育現場の業務効率化等を図るため、県域での共同調達を前提とした次世代校務DX環境の整備に係る共同調達会議運営、現状調査、仕様書作成の支援業務を委託

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし –：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	ICTを使って授業ができる教員の割合	%	91.6	93.6	↗	96	↗	98	↗	↗	「ICTを使って授業ができる教員の割合」を高めるため、令和9年度の目標を100%とし、令和8年度は98%を目標として設定 ※R7年度事業点検シートに記載したR6年度実績が誤っていたため修正しました（修正前：93.8 修正後：93.6）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値		
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2022 (R4)	85.3	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2027 (R9)	84.3
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	☆「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2022 (R4)	81.1	2023 (R5)	84.2	2024 (R6)	81.9	2027 (R9)	81.1

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R8年度	予算案		3,400,112		3,400,112	1,061,345	7.0
	要求		3,704,120		3,704,120	1,174,932	
R7年度		0	4,399,151	0	4,399,151	508,540	7.0
R6年度		0	845,386	△ 235,555	609,831	434,646	585,553
要求からの 主な変更点		•教育情報化推進のためのICT基盤整備事業について、電子黒板の更新台数を見直したことにより、更新経費を減額 •県立高校指導者用タブレット整備事業について、内容を精査したことにより、更新経費を減額 •次世代校務DX環境の整備に係る仕様書作成等の支援業務委託について、内容を精査したことにより、委託経費を減額					

事業番号	15 01 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	ICT環境整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	探究学習のためのICT機器整備事業費	49,997 千円	364,120 千円	予算案 790,155 要求 1,038,403 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教育情報化推進のためのICT基盤整備事業（電子黒板更新、無線AP修繕等）	直接 委託	県立高校において、生徒1人1台タブレット端末や電子黒板等を活用するため、校内無線LAN機器や電子黒板等の更新・修繕、消耗品交換等を実施 県立高校82校の授業用ICT機器の修繕、電子黒板(457台)の更新	
2	県立中学ICT環境整備事業（生徒用1人1台端末整備）	直接	県立中学校において令和7年度に整備された1人1台端末のリースを実施 生徒用端末368台のリース	
3	県立高校の遠隔授業環境整備事業	直接	【新】県立高校の授業等を配信するため、受信校に機材を整備 受信校11教室に機材整備	
4	GIGAスクール運営支援センター配置事業	委託	1人1台端末環境による本格的な教育活動の円滑な運用を支えるため、県立高校のICT機器設定や障害対応の支援業務を民間事業者に委託する 専門的な知見を有する事業者に通年で委託	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	高等学校普通科コンピュータ教室整備事業費	120,383 千円	116,874 千円	予算案 117,677 要求 121,605 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高等学校普通科コンピュータ教室整備事業費	直接	県立高校の普通科及び総合学科設置65校のパソコン教室にPC及び周辺機器を整備する。 県立高校65校に2,643台のPC及び周辺機器を整備（リース）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	情報通信技術（ICT）を活用した確かな学力育成事業	208,890 千円	235,275 千円	予算案 550,442 要求 570,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	情報通信技術（ICT）を活用した確かな学力育成事業	直接 委託	県立高校及び中学において、教員の校務と普通科教室における学習用の情報システム基盤整備を行うとともに、教員の情報システムリテラシー向上のため、情報セキュリティに関する専門員を配置 教員・生徒で共有するクラウド環境のセキュリティ強化	
2	県立高校指導者用タブレット整備事業	直接	県立高校における、探究的な学習や教科横断的な授業改善を推進するため、指導者用タブレット端末を更新 県立高校指導用端末2,596台の更新（リース）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	統合型校務支援システム導入事業	69,696 千円	69,696 千円	予算案 209,105 要求 240,579 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	統合型校務支援システム導入事業	直接	高大接続改革に対応するとともに、教員の業務の効率化・軽減を図るため、全県立高等学校に統合型校務支援システムを運用する。 校務支援システムを全県立高等学校で使用	
2	県域調達による次世代校務DX環境整備事業	委託	【新】教育現場の業務効率化、教職員の働き方改革、教育の質の向上を図るため、県域での共同調達を前提とした次世代校務DX環境の整備に係る仕様書作成等の支援業務を委託する。 会議運営支援8回（協議会2回、ワーキング6回）、ICT環境の現状調査結果（県域77市町村、県立高校、特別支援学校）、調達仕様書（案）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	GIGA基金1人1台端末整備事業	396,420 千円	3,613,186 千円	予算案 1,732,733 要求 1,732,733 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	GIGA基金1人1台端末整備事業	直接 委託 補助金	令和元年度に整備された小中義務教育学校における1人1台端末の計画的な更新を進めるため、端末の更新整備を行う市町村向けの補助を実施する。また、事業を円滑に実施するための共同調達会議運営等を行う。 県内市町村計：46,700台、共同調達会議等の開催	